

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公表番号】特表2017-521486(P2017-521486A)

【公表日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2017-029

【出願番号】特願2017-516251(P2017-516251)

【国際特許分類】

C 0 7 K	5/08	(2006.01)
A 6 1 K	38/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/407	(2006.01)
A 6 1 K	31/704	(2006.01)
A 6 1 K	31/4745	(2006.01)
A 6 1 K	47/54	(2017.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/64	(2017.01)

【F I】

C 0 7 K	5/08
A 6 1 K	38/06
A 6 1 K	31/407
A 6 1 K	31/704
A 6 1 K	31/4745
A 6 1 K	47/54
A 6 1 K	47/18
A 6 1 P	35/00
A 6 1 K	47/64

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年11月7日(2018.11.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

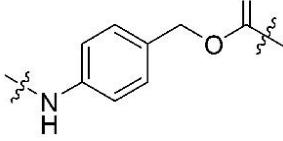
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

N - スクシンアミド酸 - Ala - Ala - Asn - PABC - マイトマイシンであるペプチド - 薬物複合体、またはその薬学的に許容される塩であって、該PABCが、式：

【化1】



で示されるリンカーであり、該マイトマイシンのアジリジン窒素が該PABCのカルボニルと結合しており、該Asnの末端カルボン酸が該PABCのアミノ基とアミド結合を形成している、ペプチド - 薬物複合体またはその薬学的に許容される塩。

【請求項2】

請求項 1 に記載のペプチド - 薬物複合体またはその薬学的に許容される塩と、少なくとも 1 つの薬学的に許容される担体とを含む、医薬組成物。

【請求項 3】

1 つまたは複数の個々の投与量として包装された、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

哺乳動物における癌の治療に用いるための医薬組成物であって、請求項 1 に記載のペプチド - 薬物複合体またはその薬学的に許容される塩を含む、医薬組成物。

【請求項 5】

哺乳動物における癌の治療に用いるための、請求項 2 または 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

該癌が固形腫瘍である、請求項 4 または 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

該癌が、結腸癌、膀胱癌、乳癌、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌、脾臓癌、肺癌、肝臓癌、食道癌、大腸癌、皮膚癌、または前立腺癌である、請求項 4 または 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

ペプチド - 薬物複合体が他の化学療法剤と併用される、請求項 4 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

ペプチド - 薬物複合体が放射線療法と併用される、請求項 4 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

癌治療薬の調製のための、請求項 1 に記載のペプチド - 薬物複合体またはその薬学的に許容される塩の使用。

【請求項 11】

該癌が固形腫瘍である、請求項 10 に記載の使用。

【請求項 12】

該癌が、結腸癌、膀胱癌、乳癌、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌、脾臓癌、肺癌、肝臓癌、食道癌、大腸癌、皮膚癌、または前立腺癌である、請求項 10 に記載の使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、腫瘍特異的ペプチド - 薬物複合体及びこの複合体を含む医薬組成物に関する。本発明はさらに、このような複合体及び組成物の、哺乳動物、特にヒトの癌の治療のための抗腫瘍薬としての使用に関する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 3】

本発明の複合体、組成物、及び方法は、膀胱癌、乳癌、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌、脾臓癌、肺癌、肝臓癌、食道癌、大腸癌、皮膚癌、及び前立腺癌が含まれるが、これらに限定されない、様々なタイプの癌を治療するために使用されてもよい。